



体育大会を終えて ～黄団優勝～

去る5月31日に体育大会が行われました。快晴の空の下、団長を中心にして青・赤・黄・緑の四つの団に分かれて全力を傾けての戦いが繰り広げられました。黄団が優勝を勝ち取りました。

でも、ただ勝つためだけに戦ったのではないという事はみんなが感じ取ってくれたと思います。こんな風に戦い抜こうという決意が各団の応援旗によく表れていたのではないのでしょうか？会談式どの団もやりきった充実感を感じさせてくれる暖かい雰囲気が溢れていました。ひとつの旗の下、学年を超えてみんなが力を合わせることができました。この経験を忘れないでくださいね。

「各団の魂を表した団旗のデザイン」



開会式では団長の力強い宣誓が強く印象に残りましたね。その他、どの競技も手に汗握る熱戦が繰り広げられました。どの種目が心に残っていますか。やはり自分たちが出場した「足並みそろえて Go」ではないでしょうか。一步踏み出すことさえ難しかった最初の頃を覚えていますか。それが練習を重ねるにつれて、チームで足並みをそろえることができるようになり、やがては走り出せるようになっていったのです。それぞれが声を掛け合って力を合わせてくれたこと。その姿勢こそ先生たちが一番1年生のみんなに身に付けてほしかったことなのです。どのチームも自分たちにできるベストを見せてくれました。迫力ある団対抗リレーやみんなの視線があつまった玉入れの玉の数を数えるシーン、なにより3年生のすべてをかけた磯松ソーランなど大迫力の体育大会になりました。また、校長先生が語られた体育大会の意義「学校が一つになる」「ノーサイドの精神」などこれからも心に刻んでくださいね。



練習の成果を見せた大縄跳び

学年種目 結果 優勝1年4組

学年競技の大縄跳びは今回ただ一つの学級対抗の種目でした。他の学年、他のクラスの仲間と協力して競技することも大切な経験ですが、ふだん一緒に生活している自分のクラスでやる種目はやはり一段と力が入るものです。

最初は1回も跳べなかったチームがお互いに声を出し合って、縄の回し方や跳び方のタイミングなどドンドン改良されていく様子は見ていて頼もしいものでした。担任の先生の指導やアドバイスもなくてはならないものでしたね。この競技練習で得た「声を出し合う。」「息を合わせて全員が協力する。」ということを大事にしてくださいね。



「雷神」「大蛇」の舞

～「一人じゃできない！」を一人一人で成し遂げる～



2年生がリーダーとなって川上小・平岩小で先輩から受け継がれ来た舞を体育大会で披露しました。

練習ではまず、全体で集会を持ち、天根先生から目標の確認がありました。その後、小グループに分かれて2年生からの細かな指導がなされ、舞の内容がどんどん良くなっていきました。全体の動きが計算されていて、とても見ごたえのあるものになっていました。それは、全体を作る一人一人の動きがしっかりしていたからこそ達成できたものです。みんなが自分の場所で全力を尽くすできていた素晴らしい演技でした。それから、リーダーを中心にして先を見ながら指導してくれていた2年生の姿を忘れないでくださいね。来年はみなさんの番ですよ。